

## 施策評価調書(1)

評価対象年度

29年度

めざす姿	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”
施策名	3 市民が自己実現をめざせる環境づくり
施策関係課	(市民生活部)自治振興課／(経済部)グリーンセンター／ (生涯学習部)生涯学習課・文化推進室・中央図書館・科学館・スポーツ課

### ●施策の基本方針(目標)

自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくります。

### ●目標指標

指標	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)		単位	%	指標の種別	成果	
指標①	目標値	現状値を上回る(平成32年度)		現状値	32.7(平成27年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	32.7	34.6					
指標②	名称	生涯学習施設*の利用者数(*公民館等、図書館、科学館、スポーツ施設)			単位	人	指標の種別	結果
	目標値	6,953,000(平成32年度)		現状値	6,492,941(平成26年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	6,888,325	6,694,045					
指標③	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							
指標④	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							

\*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

事業額	(単位:千円)	28年度決算額	29年度決算額	30年度予算額	31年度計画額	32年度計画額
事業費		2,085,616	3,048,173	3,360,471	2,452,926	
概算人件費		632,364	592,246	599,580	597,684	
総事業費		2,717,980	3,640,419	3,960,051	3,050,610	

\*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 54	単位施策② 55	単位施策③ 54	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			54.3	

## 施策評価調書(2)

評価対象年度 29年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

① 生涯学習活動の支援									
事業コード	事業名称	担当課	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	29年度	30年度
			事業費 (決算額)	事業費 (決算額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	総	実施
								評	方
								価	向
								値	性
23100102	公民館施設整備費	生涯学習部	3,027	52,477	281,827	281,827		53	現状維持 で実施
		生涯学習課	410	936	948	948			
23100155	新郷南公民館 耐震改修事業	生涯学習部	4,662	24,107	126,058	—		53	現状維持 で実施
		生涯学習課	0	0	0	—			
23100202	図書館施設整備費	生涯学習部	82,520	35,875	17,905	17,905		56	現状維持 で実施
		中央図書館	410	390	395	395			
23100301	社会教育活動運営事業	生涯学習部	2,066	2,022	2,466	2,466		56	現状維持 で実施
		生涯学習課	410	390	395	395			
23100401	施設予約システム事業 (平成29年度は休止)	生涯学習部	7,396	—	—	—			
		生涯学習課	4,100	—	—	—			
23100501	市民大学事業	生涯学習部	2,342	1,772	4,245	4,245		56	現状維持 で実施
		生涯学習課	4,920	4,680	4,740	4,740			
23100601	人材バンク事業	生涯学習部	5	20	24	24		52	拡充して 実施
		生涯学習課	1,230	1,170	1,185	1,185			
23100701	子ども大学かわぐち 実行委員会交付事業	生涯学習部	437	367	437	437		56	現状維持 で実施
		生涯学習課	2,706	2,574	2,607	2,607			
23100801	社会教育団体育成事業	生涯学習部	36	45	72	72		58	効率化して 実施
		生涯学習課	820	780	790	790			
23100901	社会教育団体補助事業	生涯学習部	1,195	1,195	1,145	1,145		48	効率化して 実施
		生涯学習課	164	156	158	158			
23101001	公民館施設運営費	生涯学習部	163,417	171,486	116,132	116,132		52	効率化して 実施
		生涯学習課	5,084	4,836	4,898	4,898			
23101101	中央ふれあい館 施設運営費	生涯学習部	913	731	10,792	10,792		50	効率化して 実施
		生涯学習課	23,800	29,190	31,410	31,410			
23101201	婦人会館施設運営費	生涯学習部	575	464	2,863	2,863		58	現状維持 で実施
		生涯学習課	21,400	26,700	31,100	31,100			
23101301	青少年会館施設運営費 (平成29年度は休止)	生涯学習部	215	—	—	—			
		生涯学習課	21,400	—	—	—			
23101401	文化会館施設運営費	生涯学習部	770	641	786	786		44	拡充して 実施
		生涯学習課	24,700	26,300	26,400	26,400			
23101501	図書館施設運営費	生涯学習部	410,613	408,576	436,503	436,503		58	現状維持 で実施
		中央図書館	287,000	273,000	276,500	276,500			
23101601	社会教育施設 指定管理者管理運営費	生涯学習部	68,915	68,915	68,915	—		56	現状維持 で実施
		中央図書館	820	780	790	—			
23101701	科学展示施設運営費	生涯学習部	41,742	41,119	41,640	41,640		50	現状維持 で実施
		科学館	24,764	22,152	21,567	22,594			
23101801	天文台施設運営費	生涯学習部	721	804	799	799		56	現状維持 で実施
		科学館	11,972	11,154	11,692	11,929			
23101901	プラネタリウム施設運営費	生涯学習部	14,365	14,573	16,771	16,771		56	現状維持 で実施
		科学館	14,268	13,182	13,114	13,351			
23102001	特別企画事業費	生涯学習部	11,738	9,047	11,390	11,390		56	現状維持 で実施
		科学館	8,118	7,878	7,426	7,663			

単位施策名		② スポーツ・レクリエーション活動の支援								
事業コード	事業名称	担当課	28年度 事業費 (決算額)	29年度 事業費 (決算額)	30年度 事業費 (予算額)	31年度 事業費 (計画額)	32年度 事業費 (計画額)	29年度 の 総評価	30年度 の実施 方向性	
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費			
23200102	体育施設耐震診断事業	生涯学習部 スポーツ課	— —	8,964 468	— —	— —		50	完了	
23200112	新郷スポーツセンター 耐震改修事業	生涯学習部 スポーツ課	18,105 574	166,646 546	630,700 553	— —		58	現状維持 で実施	
23200125	オリンピック・パラリンピック 事前キャンプ地誘致等事業	生涯学習部 スポーツ課	— —	860 6,630	993 6,715	993 6,715		58	現状維持 で実施	
23200142	体育施設維持補修費	生涯学習部 スポーツ課	76,777 1,886	61,754 1,794	47,124 1,817	47,124 1,817		58	現状維持 で実施	
23200162	体育施設整備費	生涯学習部 スポーツ課	— —	206,662 624	239,732 632	253,028 632		58	現状維持 で実施	
23200182	青木町公園総合運動場 陸上競技場耐震改修事業	生涯学習部 スポーツ課	— —	36,383 546	198,092 553	— —		58	現状維持 で実施	
23200202	青木町公園総合運動場庭球場 人工芝改修事業 (平成28年度をもって完了)	生涯学習部 スポーツ課	63,990 1,230	— —	— —	— —			—	
23200222	芝スポーツセンター 耐震改修事業	生涯学習部 スポーツ課	— —	13,738 546	— —	223,896 553		58	休止	
23200242	東スポーツセンター 設備改修事業	生涯学習部 スポーツ課	— —	128,277 468	24,000 474	— —		58	縮小して 実施	
23200262	西スポーツセンター 設備改修事業	生涯学習部 スポーツ課	— —	149,348 468	77,988 474	— —		58	現状維持 で実施	
23200282	青木町公園総合運動場 プール設備改修事業	生涯学習部 スポーツ課	— —	236,263 468	— —	— —		58	完了	
23200301	流水プール施設運営費	経済部 グリーンセンター	39,609 6,304	39,954 7,488	40,762 7,584	40,762 7,584		44	現状維持 で実施	
23200401	スポーツ推進審議会事業	生涯学習部 スポーツ課	193 2,050	186 1,950	208 1,975	208 1,975		50	現状維持 で実施	
23200501	中学校・高等学校 運動指導者派遣事業	生涯学習部 スポーツ課	1,577 8,200	1,720 7,800	1,979 7,900	1,979 7,900		50	現状維持 で実施	
23200601	各種体育大会開催事業	生涯学習部 スポーツ課	236 8,200	238 7,800	246 7,900	246 7,900		50	現状維持 で実施	
23200701	体育関係表彰事業	生涯学習部 スポーツ課	675 8,200	679 7,800	736 7,900	736 7,900		60	現状維持 で実施	
23200801	ツーデーマーチ 実行委員会交付金	生涯学習部 スポーツ課	1,700 8,200	1,700 7,800	2,700 7,900	1,700 7,900		52	現状維持 で実施	
23200901	学校体育協会事業	生涯学習部 スポーツ課	3,193 8,200	2,949 7,800	3,360 7,900	3,360 7,900		50	現状維持 で実施	
23201001	スポーツ協会事業	生涯学習部 スポーツ課	53,843 8,200	53,843 7,800	58,293 7,900	56,793 7,900		60	現状維持 で実施	
23201101	スポーツ推進委員協議会 事業	生涯学習部 スポーツ課	12,389 8,200	12,457 7,800	13,062 7,900	13,062 7,900		60	現状維持 で実施	
23201201	レクリエーション協会事業	生涯学習部 スポーツ課	3,878 8,200	3,878 7,800	3,845 7,900	3,878 7,900		48	現状維持 で実施	
23201301	スポーツ少年団事業	生涯学習部 スポーツ課	1,200 8,200	1,200 7,800	1,200 7,900	1,200 7,900		46	現状維持 で実施	
23201401	スポーツ推進補助事業	生涯学習部 スポーツ課	15,602 8,200	15,606 7,800	15,927 7,900	15,927 7,900		48	現状維持 で実施	
23201501	青木町公園総合運動場・体育武道 センター指定管理者管理運営費	生涯学習部 スポーツ課	154,286 2,050	154,947 1,794	155,408 1,817	155,562 1,817		58	現状維持 で実施	
23201601	戸塚スポーツセンター 指定管理者管理運営費	生涯学習部 スポーツ課	134,796 2,050	134,986 1,794	135,669 1,817	135,669 1,817		58	現状維持 で実施	

事業コード	事業名称	担当課	28年度 事業費 (決算額)	29年度 事業費 (決算額)	30年度 事業費 (予算額)	31年度 事業費 (計画額)	32年度 事業費 (計画額)	29年度 の 総評価	30年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23201701	施設予約システム事業 (平成28年度をもって完了)	生涯学習部 スポーツ課	13,662	—	—	—			—
			2,050	—	—	—			
23201802	青木町公園総合運動場陸上 競技場第3種公認取得事業	生涯学習部 スポーツ課	131,477	256,632	5,590	—		58	縮小して 実施
			1,230	390	395	—			
23201901	スポーツ教室開催事業費	生涯学習部 スポーツ課	1,158	903	1,007	1,007		60	現状維持 で実施
			19,800	18,500	18,500	18,500			

単位施策名 ③ 文化芸術活動の支援									
事業コード	事業名称	担当課	28年度 事業費 (決算額)	29年度 事業費 (決算額)	30年度 事業費 (予算額)	31年度 事業費 (計画額)	32年度 事業費 (計画額)	29年度 の 総評価	30年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23300102	文化芸術鑑賞事業	生涯学習部 文化推進室	745	193	448	448		52	現状維持 で実施
			1,394	1,326	1,185	1,185			
23300202	アートギャラリー企画関係費	生涯学習部 文化推進室	19,947	14,810	17,662	17,662		50	現状維持 で実施
			13,120	12,480	12,640	12,640			
23300301	総合文化センター 指定管理者管理運営費	市民生活部 自治振興課	484,014	476,370	503,500	498,000		54	現状維持 で実施
			1,476	1,170	1,343	1,343			
23300501	市民コンサート事業	生涯学習部 文化推進室	463	798	1,227	1,227		58	現状維持 で実施
			2,214	2,106	1,659	1,659			
23300601	芸術賞賞賜事業	生涯学習部 文化推進室	870	714	1,035	1,035		54	現状維持 で実施
			1,804	1,716	1,580	1,580			
23300701	文化振興交付事業	生涯学習部 文化推進室	15,452	14,828	13,301	13,301		56	効率化して 実施
			15,580	8,502	6,636	6,636			
23300801	旧芝園中学校アトリエ 利用事業	生涯学習部 文化推進室	250	300	363	—		58	拡充して 実施
			1,230	1,170	948	—			
23300901	文化団体補助事業	生涯学習部 文化推進室	1,554	1,650	1,650	1,650		50	現状維持 で実施
			1,066	1,014	948	948			
23301001	アートギャラリー事業運営費	生涯学習部 文化推進室	12,391	13,501	16,676	16,676		52	現状維持 で実施
			14,760	14,040	14,220	14,220			

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23100102	事業名称	公民館施設整備費	事業区分	主要な事業 政策宣言18
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2462	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	戸塚公民館	戸塚公民館利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口グリーンエナジー戦略計画に基づき、環境に配慮した照明器具等を設置する。	戸塚公民館のLED照明器具借上。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	戸塚公民館のLED照明器具を借上げた。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	LED照明の設置により環境負荷の低減に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	02目	002細目	03細々目	公民館施設整備費	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		3,027		53,792		281,827		281,827
決算額(B)		3,027		52,477				
財源	特定財源	0		0		0		
	一般財源	3,027		52,477		281,827		
概算人件費(C)		410		936		948		948
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00
総事業費(A又はB+C)		3,437		53,413		282,775		282,775

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
53 /60	LED照明器具の借上期間満了後の照明の取り扱いが課題である。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23100155	事業名称	新郷南公民館耐震改修事業	事業区分	主要な事業 その他
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2462	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	新郷南公民館	施設利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	耐震診断の結果、耐震値が基準を満たしていないことが明らかになった社会教育施設について、建替工事により利用者及び地域住民の安全を確保すること。	耐震診断の結果を受け、新郷スポーツセンターと新郷南公民館の耐震補強工事を行う。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	耐震補強工事(平成29~30年度2ヵ年継続事業)	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	十分な成果が得られた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	02目	002細目	04細々目	新郷南公民館耐震改修事業		
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		5,120		59,916		126,058		-	
決算額(B)		4,662		24,107					
財源	特定財源	1,700		9,800		60,500			
	一般財源	2,962		14,307		65,558			
概算人件費(C)		-		-		-		-	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
総事業費(A又はB+C)		4,662		24,107		126,058		-	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 /60	平成30年度に耐震補強工事が完了するため、再オープンに向けて準備を進める。	30年度	現状維持で実施
		31年度	完了
		32年度	-

### 実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23100202	事業名称	図書館施設整備費		事業区分	主要な事業 政策宣言18
担当	生涯学習部	中央図書館	問い合わせ先	#69-2986	新規・継続	継続

#### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立図書館設置及び管理条例、川口市立図書館設置及び管理条例施行規則					

#### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)			
	川口市立中央図書館 他5館		施設利用者			
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	利用者が安心・安全に施設利用できる。		施設管理運営に必要な施設整備を行う。			
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横曽根図書館・公民館耐震補強等設計委託</li> <li>・戸塚図書館 事務室LED照明器具借上</li> <li>・中央図書館視聴覚ホール 照明器具改修工事</li> <li>・横曽根図書館消防用設備改修工事、動力制御盤改修工事</li> <li>・チャルユニット改修工事</li> </ul>		項目	実績	単位	
事業の成果 【定性的評価】	図書館施設の老朽化にともなう重大かつ緊急性の高い箇所の整備を行い、利用者に安全で快適な施設を提供することができた。					

#### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
	実績値・達成状況	/							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
	実績値・達成状況	/							

#### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	06目	003細目	03細々目	図書館施設整備費				
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			68,078	36,805		17,905		17,905			
決算額(B)			82,520	35,875							
財源	特定財源	0		0		0					
	一般財源	82,520		35,875		17,905					
概算人件費(C)		410		390		395		395			
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費(A又はB+C)		82,930		36,265		18,300		18,300			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

#### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

#### 6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	図書館施設の老朽化は、今後も避けられない課題である。改修工事などの実施については、経済的な観点や効率性にも配慮し、重大かつ緊急性の高い箇所から順次整備を行っていく。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23100301	事業名称	社会教育活動運営事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2463	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	社会教育関係委員	社会教育施設利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	社会教育の諸事業について、審議し、委員をとおして市民の意見を広く反映させるため。	社会教育関係委員会議を開催し、事業内容等を審議する。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	社会教育関係委員会議・公民館運営審議会・青少年婦人教育施設運営審議会・中央ふれあい館運営審議会を開催した。	項目	実績	単位
		社会教育委員会議	1	回
		公民館等運営審議会	35	回
事業の成果【定性的評価】	社会教育の諸事業・施設運営について審議し、委員をとおして市民の意見を広く反映させることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	会議及び審議会の実施回数			指標・目標値の説明(算定式)	社会教育委員会議及び公民館等運営審議会の開催回数				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	37 達成		36 達成		36		36		36
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	002細目	01細々目	社会教育活動運営事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		3,012		2,758		2,466		2,466		
決算額(B)		2,066		2,022						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	2,066		2,022		2,466				
概算人件費(C)		410		390		395		395		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費(A又はB+C)		2,476		2,412		2,861		2,861		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性	
56 /60	特になし	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施



実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23100501	事業名称	市民大学事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2478	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市民大学設置要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内在住・在勤・在学の18歳以上の方	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	生涯学習社会が進展する中で、市民の高度で多様な学習要求に応える。市民が「生きがいつくり」「自己実現」を達成し、より豊かで充実した人生を送ることに貢献する。	市内外の高等教育機関や公民館などの社会教育施設と協力し、文学・歴史・自然科学等の一般教養や専門的知識を学ぶ講義のほか、現代的課題等をとりあげる講座を開催する。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	人材バンク魅学、大学教授、気象予報士など多くのジャンルから講師を招き、歴史、自然科学、英会話、情報機器などの広い分野の講座を開催した。また、文化財課の協力により、川口市にまつわる講座を開催し、地域の魅力を伝えられた。	項目	実績 単位
		川口市民大学講座実施回数	155 回
事業の成果 【定性的評価】	市民大学として37講座、155回の実施をし、延べ4,793人が受講され、様々な分野における知識を習得するのに貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市民大学講座数			指標・目標値の説明(算定式)	教育委員会主催講座(10講座)及び社会教育施設主催講座(28講座)を実施。1講座4回以上開催。					
	単位	回	指標の種別	活動							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	156	152	152	152	152					
指標②	名称	川口市民大学事業参加率			指標・目標値の説明(算定式)	川口市民大学の申込み率=応募者数/定員×100(%)					
	単位	%	指標の種別	成果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	103.45	100	100	100	100					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	01細々目	市民大学事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				2,820		2,763		4,245		4,245
決算額(B)				2,342		1,772				
財源	特定財源			132		189		300		
	一般財源			2,210		1,583		3,945		
概算人件費(C)				4,920		4,680		4,740		4,740
従事職員人数(人)	常勤	再任用		0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60
総事業費(A又はB+C)				7,262		6,452		8,985		8,985

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	講座開催日、開催時間を夜間や週末に実施し、若い世代の方も参加しやすくなるように努める。また、講座実施後のアンケートからニーズの高い分野の講座を企画していく。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23100601	事業名称	人材バンク事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2478	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	社会教育法、川口市人材バンク「魅学」設置要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内在住、在勤または市内で活動している16歳以上の個人または団体	市内在住・在勤・在学の方、市内で活動している団体、市内の教育関連施設等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	豊富な知識や経験を持つ個人及び団体の情報を「人材バンク」に登録し、指導者やボランティアとして紹介することで、市民の生涯学習活動や学校における教育活動を支援し、お互いの生きがいづくり、人づくりにつなげていくことを目的とする。	生涯学習に関する資格・技術や経験を有し、市民の生涯学習活動の支援に意欲を持った市民を人材バンクに登録し、自らの自己実現のため生涯学習活動に対し指導者として紹介する。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・平成29年度は227人の登録者のうち、54件の活用があった。 ・小・中学校においては、地域ふれあい授業やクラブ・部活動、放課後子供教室において活用があった。加えて社会教育施設等においても、歌や家庭教育講座、健康体操で登録のある講師が活用された。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	豊富な知識や経験を有し、市民の生涯学習活動の支援に意欲のある登録者や団体を、自らの自己実現のために生涯学習活動への参加を希望する個人や団体に紹介することにより、双方の自己充足を図る機会を提供することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	人材バンク魅学依頼件数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の依頼件数の平均値					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	45	達成	54	達成						
指標②	名称	人材バンク魅学登録者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の登録者数の平均値					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	210	未達成	227	達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	02細々目	人材バンク事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				30	24	24	24			
決算額(B)				5	20					
財源	特定財源			0	0	0				
	一般財源			5	20	24				
概算人件費(C)				1,230	1,170	1,185	1,185			
従事職員人数(人)	常勤	再任用		0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15
総事業費(A又はB+C)				1,235	1,190	1,209	1,209			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待どりの	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	ボランティア・指導者登録者または団体の登録件数に対し、学習者の依頼が少ないことが課題である。改善方策としては、社会教育施設や学校等において、登録者が活躍できるよう積極的に啓発に努めていく。	30年度	拡充して実施
		31年度	拡充して実施
		32年度	拡充して実施

### 実施計画事業評価調査

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	23100701	事業名称	子ども大学かわぐち実行委員会交付事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	259-7655	新規・継続

#### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	子ども大学かわぐち実行委員会設置要綱

#### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民(市内小学校4~6年生児童)	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	地域の複数の大学や市町村、企業が連携して、子ども(小学校4~6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。	3つのテーマに沿って、大学教員や様々な分野のプロフェッショナルが、子どもの疑問に優しく答える講義を提供したり、学んだ成果発表、社会体験活動を行う「学園祭」を実施する。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	○大学教員によるグループワーク ○プログラミング教室講師によるゲームソフトプログラミング ○国立天文台広報普及員による宇宙シアター上映 ○大学教員による立体パズルワークショップ ○地元大学における学園祭参加	項目	実績	単位
		申込者数	208	人
受講者アンケート(とても満足した)	83.61	%		
事業の成果 【定性的評価】	参加児童アンケートによると「今までできなかったことができるようになることがわかったので、これから参考にしたいです。」など、知的好奇心を満足させる学びであったことがわかった。保護者アンケートも同様であった。			

#### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	申込者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去参加申込数の平均値				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況	112	達成	208	達成					
指標②	名称	受講者アンケート(とても満足した)			指標・目標値の説明(算定式)	過去受講者アンケートの平均値				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況	91.89	達成	83.61	達成					

#### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	04細々目	子ども大学かわぐち実行委員会交付事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		437		437		437		437		
決算額(B)		437		367						
財源	特定財源	0		0		0		0		
	一般財源	437		367		437		437		
概算人件費(C)		2,706		2,574		2,607		2,607		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00
総事業費(A又はB+C)		3,143		2,941		3,044		3,044		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

#### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

#### 6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	受講者のニーズに応じつつ、さらに深い学びを提供する講座を実施できるよう、魅力的な講座を企画する。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23100801	事業名称	社会教育団体育成事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2478	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市公民館等社会教育関係団体育成事業に係わる事業費交付要項

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	社会教育施設利用者および社会教育関係団体等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	健全な施設運営および社会教育事業の推進を図るため、社会教育関係団体のリーダーとしての資質の向上や、社会教育施設で活動する団体の学習活動の支援促進に寄与する。	健全な施設運営および社会教育事業の推進を図ることを念頭に、社会教育関係団体のリーダーとして必要な知識もしくは社会教育施設の利用に関する研修会等の実施や、社会教育施設で活動する団体の学習活動の支援および促進に結びつく事業を実施する。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	社会教育施設長等が講師となり、施設の利用に関する説明会や、外部講師を登用し災害時での対応や防災対策の知識等を学習する事業を実施した。また、施設で活動する団体と共催して活動の促進に結び付く事業を実施した。	項目	実績 単位
		社会教育関係団体リーダー研修会	32 事業
事業の成果【定性的評価】	35事業を実施し、のべ1,696人の参加があり、リーダーとしての資質向上や、団体の学習活動の支援促進に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	事業実施数			指標・目標値の説明(算定式)	市内の公民館等の全施設において企画・実施を目指す。(中央ふれあい館及び青少年・婦人会館を含む35館)				
	単位	事業数	指標の種別	活動						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況	37	達成	35	達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別								
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	005細目	01細々目	社会教育団体育成事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		135		72		72		72		
決算額(B)		36		45						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	36		45		72				
概算人件費(C)		820		780		790		790		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費(A又はB+C)		856		825		862		862		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	主体的参加が求められることから、事業数や参加者数では成果が見えない側面がある。また、限りある財源の中で、内容を工夫して事業を実施しているところである。	30年度	効率化して実施
		31年度	効率化して実施
		32年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23100901	事業名称	社会教育団体補助事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2462	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 50 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、各種補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市PTA連合会 川口市郷土史会 川口市婦人団体連絡協議会	川口市で教育を受ける子供 郷土文化・文化財保護に関わる市民 婦人団体活動に関わる市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	各団体の運営事業費の一部を助成し、団体活動の充実・進展を図るため。	補助金の交付	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	各団体の運営費のうち、会議費・研修費等、事業にかかる経費の一部を助成した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	講演会及び研修費などの主催事業等、各団体の活動内容が充実し、それぞれの活動目的の進展に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	005細目	02細々目	社会教育団体補助事業	
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		1,195	1,195	1,145	1,145			
決算額(B)		1,195	1,195					
財源	特定財源	0	0	0	0			
	一般財源	1,195	1,195	1,145	1,145			
概算人件費(C)		164	156	158	158			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00
総事業費(A又はB+C)		1,359	1,351	1,303	1,303			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	川口市郷土史会補助金については、文化財保護に関わるため、文化財課に移管した。	30年度 効率化して実施 31年度 効率化して実施 32年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	23101001	事業名称	公民館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2462	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	社会教育法、川口市立公民館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公民館等社会教育施設	公民館等社会教育施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	住民への学習機会の提供と多くの人々の新たな交流の場の提供を目的としている。	社会の要請や個人の要望に応えることができるよう、現代的課題を中心とした多種多様な講座の実施や、生涯各期にあわせた事業を展開している。	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・多種多様な講座を実施した。 ・施設の改修を実施した。	項目	実績 単位
		施設の改修費用	61,338,000 円
		年間教室件数	750 件
事業の成果【定性的評価】	市民の一般的教養が向上し、公民館活動を通じて地域の活性化に繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間教室件数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績の積み上げから設定したもの。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	860 達成		807 未達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	02目	001細目	01細々目	公民館施設運営費				
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		191,172		177,202		116,132		116,132			
決算額(B)		163,417		171,486							
財源	特定財源	33,481		35,735		33,245					
	一般財源	129,936		135,751		82,887					
概算人件費(C)		5,084		4,836		4,898		4,898			
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.62	0.00	0.62	0.00	0.62	0.00	0.62	0.00
総事業費(A又はB+C)		168,501		176,322		121,030		121,030			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	幅広い年齢層の方々が利用しており、市民の多様な学習ニーズはますます高度化しているため、事業内容の充実が求められている。このことから、事業の企画は十分に市民ニーズを把握した上で、魅力ある内容の事業を実施するよう努める。施設の改修にかかる予算については、平成30年度から公民館施設管理費に計上し、事務の効率化を図る。	30年度	効率化して実施
		31年度	効率化して実施
		32年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23101101	事業名称	中央ふれあい館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	222-2798	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立中央ふれあい館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中央ふれあい館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の自発的学習を奨励助長し、知識の習得及び技術の向上を目指す。特に高齢者については交流の場作りとする。	学習内容にふさわしい施設の提供及び市民のニーズに応じた講座の開設	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	子どもや高齢者向けの年齢層に応じた講座のほか、趣味・実技の習得を目的とした講座を実施した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	川口駅に近いという利便性があり、貸出し可能な部屋数も多く多目的にわたるため、施設の利用率も最も高く、講座も概ね参加率も高い。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況	262,821	達成	254,989	達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	03目	001細目	01細々目	中央ふれあい館施設運営費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		1,045		1,004		10,792		10,792		
決算額(B)		913		731						
財源	特定財源	913		731		8,944				
	一般財源	0		0		1,848				
概算人件費(C)		23,800		29,190		31,410		31,410		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.85	5.10	1.75	4.20	3.25	1.55	3.25	1.55
総事業費(A又はB+C)		24,713		29,921		42,202		42,202		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	今後も利用率が低下しないように施設の良好な維持・管理に努めるとともに、特に地域の多様化しているニーズの把握に速やかに対応して講座内容の検討をすることが肝要である。	30年度	効率化して実施
		31年度	効率化して実施
		32年度	効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23101201	事業名称	婦人会館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	253-1444	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 45 年度 ~ 平成 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立婦人会館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	婦人会館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の文化と教養を高め、社会生活の向上を図るとともに、幼児の教育と福祉の増進に寄与する。	子育て支援や趣味・教養の充実。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	赤ちゃんサロン 子育て支援講座 旬彩クッキング パン作り教室 ゆかた着付け教室	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	子育て支援(親子のふれあいや離乳食についての学び)に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	34,974	達成	34,404	達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	04目	001細目	01細々目	婦人会館施設運営費				
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		596		465		2,863		2,863			
決算額(B)		575		464							
財源	特定財源	0		0		0					
	一般財源	575		464		2,863					
概算人件費(C)		21,400		26,700		31,100		31,100			
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.00	4.00	2.00	3.00	3.00	2.00	3.00	2.00
総事業費(A又はB+C)		21,975		27,164		33,963		33,963			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	費用対効果を見極め、ニーズの把握に努め、施設の特徴に応じた事業を選択していく。	30年度	現状維持で実施
		31年度	拡充して実施
		32年度	拡充して実施



実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23101401	事業名称	文化会館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	048-222-3612	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 58 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立南平文化会館設置及び管理条例・川口市立南平文化会館管理規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化会館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の芸術文化の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。	音楽会、講演会などの主催および共催事業の実施。 ①おかあさんコーラスの集い ②サロンコンサート ③文化講演会	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	音楽会、講演会などの主催および共催事業 ①おかあさんコーラスの集い・5/21 参加者327名 ②サロンコンサート・7/7 参加者118名	項目	実績 単位
		おかあさんコーラスの集い	1 回数
事業の成果 【定性的評価】	多くの川口市民の芸術・文化活動の発展に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主事業			指標・目標値の説明(算定式)	自主事業における会場収容人数の上限をもとに設定				
	単位	年間利用者数	指標の種別	結果		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	目標値				1,220	1,220	1,220	1,220	1,220	
	実績値・達成状況	770	未達成	445	未達成					
指標②	名称	貸館事業			指標・目標値の説明(算定式)	過去5年間の平均実績をもとに設定				
	単位	年間利用者数	指標の種別	結果		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	目標値				55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	
	実績値・達成状況	69,219	達成	27,483	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	05目	001細目	01細々目	文化会館施設運営費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		785		813		786		786		
決算額(B)		770		641						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	770		641		786				
概算人件費(C)		24,700		26,300		26,400		26,400		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	5.00	1.00	5.00	1.00	5.00	1.00	5.00
総事業費(A又はB+C)		25,470		26,941		27,186		27,186		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	施設内で空調設備が故障したこと、改修のための工事を実施したため、7月から12月までの間、貸館事業ならびに自主事業を中止した。結果、年間利用者数が28年度と比べて減少した。今後とも施設の整備に努め、一年でも早く目標値を達成できるようにする必要がある。	30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施 32年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23101501	事業名称	図書館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	中央図書館	問い合わせ先	#69-2986	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立図書館設置及び管理条例、川口市立図書館設置及び管理条例施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	全市民(施設利用者)	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市民の知的自由を支え、知的要求に応えるためのサービスを提供することで、生涯学習を支援することを目的とする。	生涯学習の重要な拠点施設として、質の高いサービスを提供し、生涯学習の充実を支援する。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	利用者の利便性の向上のため可能な限り開館し、また絵本の読み聞かせやストーリーテリングを通じて、子ども達に本を手渡す機会を作る。さらに、図書館が近くにない地区に住んでいる市民のニーズには移動図書館車の運営により応える。	項目	実績	単位
		開館日数	350	日
		おはなし会開催回数	471	回
		移動図書館巡回回数	261	回
事業の成果 【定性的評価】	活動結果として、入館者数1,769,106人、おはなし会参加人数6,751人、移動図書館利用者数3,990人の利用があった。成果として、個人の生活を豊かにすると共に、社会の一員としての能力を高めるといふ生涯学習の充実へ寄与した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入館者数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館及び芝園分室の入館者数 目標値:平準的な開館日数である直近年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	目標値	1,870,000		1,800,000		1,800,000				
	実績値・達成状況	1,800,432	未達成	1,769,106	未達成					
指標②	名称	おはなし会参加人数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:おはなし会、夏休みおはなし会、クリスマスおはなし会、わらべうたの会の参加者数 目標値:前年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	目標値	7,300		6,800		6,800				
	実績値・達成状況	6,805	未達成	6,751	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	06目	002細目	01細々目	図書館施設運営費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		448,479		413,308		436,503		436,503		
決算額(B)		410,613		408,576						
財源	特定財源	37,651		32,086		0				
	一般財源	372,962		376,490		436,503				
概算人件費(C)		287,000		273,000		276,500		276,500		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00	
総事業費(A又はB+C)		697,613		681,576		713,003		713,003		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	市民の生涯学習へのニーズが多様化しているなか、図書館機能を生かした事業を推進していく必要がある。そのために、従来の事業の枠にとらわれることなく新たな事業を展開していく必要がある。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23101601	事業名称	社会教育施設指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	中央図書館	問い合わせ先 #69-2986	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立映像・情報メディアセンター設置及び管理条例 他

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中央図書館視聴覚ホール及び映像・情報メディアセンターを運営する事業者	全市民(施設利用者)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	多様化する住民ニーズに対し、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図るとともに、経営の効率化等を図ることを目的としている。	指定管理者により、中央図書館視聴覚ホール及び映像・情報メディアセンターの管理並びに各種ワークショップやイベント等の事業サービスを実施する。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	年度を通じて、施設の貸出しとワークショップ、講座、講演会・展示及び上映会を実施した。	項目	実績 単位
		ワークショップ開催回数	67 回
		各種講座開催回数	110 回
		上映会開催回数	75 回
事業の成果 【定性的評価】	活動結果として、ワークショップに931人、各種講座に1,358人、上映会に3,602人の参加があった。成果として、利用者に対して特色のあるイベント等のサービスが提供でき、住民サービスの向上を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	主催事業参加人数			指標・目標値の説明(算定式)	指標：講座、ワークショップ等主催事業の参加人数 目標値：過去4年間の実績を参考に決定
	単位	人	指標の種別	結果		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況	8,200	8,500	8,500		
	8,871	達成	8,773	達成		
指標②	名称	貸出施設・機器利用件数			指標・目標値の説明(算定式)	指標：プレゼンテーションスタジオ、録音スタジオ、編集スタジオ、館内貸出機器の利用件数 目標値：過去4年間の実績を参考に決定
	単位	件	指標の種別	結果		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況	22,100	22,000	22,000		
	22,802	達成	21,785	未達成		

4 年度別事業費(単位：千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	07目	001細目	01細々目	社会教育施設指定管理者管理運営費
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		68,915	68,915	68,915	—		
決算額(B)		68,915	68,915				
財源	特定財源	0	0	0			
	一般財源	68,915	68,915	68,915			
概算人件費(C)		820	780	790	—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	—
総事業費(A又はB+C)		69,735	69,695	69,705	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	課題は、施設稼働率の向上及び、収益の増加を図ること。改善方策として、集客力の多いイベントを検証し、魅力ある事業を実施する。	30年度 現状維持で実施 31年度 効率化して実施 32年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	23101701	事業名称	科学展示施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学展示施設利用者、科学出張教室参加者、チャレンジサイエンス参加者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	参加体験型の展示物を有効に活用するとともに、各種事業を開催することにより、利用者の科学に対する興味関心を高める。	・実験ショー、科学体験教室、科学出張教室などの実施 ・展示解説・受付案内・各種事業補助のインストラクター業務の委託		
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	実験ショー「サイエンスショー」、身近な素材を使った簡単な科学ものづくり「わくわくワーク」、テーマのあるものづくり・観察・実験を行う「どきどきサイエンス」(インストラクター委託による)、講義と観察・実験・工作を組み合わせた「夏休み科学教室」及び展示解説を行った。	項目	実績	単位
		サイエンスショー参加者数	5,278	人
		わくわくワーク参加者数	18,197	人
どきどきサイエンス参加者数	3,150	人		
事業の成果【定性的評価】	科学現象の原理原則を学ぶ展示装置や、科学の基礎を学習する科学実験ショーや科学ものづくり教室等を展開し大人から子どもまで楽しみながら学べ、また、学校における授業の一環として効果的に活用された。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	科学展示施設入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	科学展示施設入場者数 平成26年度の実績を参考に設定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	73,399	未達成	76,999	未達成						
指標②	名称	館外事業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	館外事業参加者数 平成26年度の実績を参考に設定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	6,381	達成	7,692	達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	01細々目	科学展示施設運営費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				41,802		44,071		41,640		41,640
決算額(B)				41,742		41,119				
財源	特定財源			6,727		7,176		5,900		
	一般財源			35,015		33,943		35,740		
概算人件費(C)				24,764		22,152		21,567		22,594
従事職員人数(人)	常勤	再任用		3.02	0.00	2.84	0.00	2.73	0.00	2.86
総事業費(A又はB+C)				66,506		63,271		63,207		64,234

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	実験ショーや科学教室、地域学校連携となる館外事業の実施については、内容の充実や実施方法の改善など、他館の事業を参考にしながら利用者の満足度を高める工夫が必要となる。また、開館から15年が経過し、老朽化が進んでいる展示装置の更新のために、展示装置改修事業として要望を出し、予算の枠内で更新を図りたい。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23101801	事業名称	天文台施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学館利用者、出張事業参加者、ホームページ閲覧者、関係機関	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	本物の天体を、実際に観測・体験することで深い興味と感動を覚え、科学的なものの見方や考え方を身につける。	夜間観測会、天文台ガイドツアー、太陽観測実習、特別観測会、太陽観測出張授業、夜間出張観望会を行うもの。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	夜間観測会では、屋上の主天文台と副天文台でその日によく見える惑星や月、星雲などを観察。天文台ガイドツアーでは、副天文台での太陽観測を中心に3つの天文台を案内。太陽観測出張授業では主に市内小学校6年生と中学校3年生を対象に小型太陽望遠鏡を用いた太陽の観察授業を行った。	項目	実績	単位
		夜間観測会参加者数	622	人
		天文台ガイドツアー参加者数	300	人
太陽観測出張授業参加者数	1,255	人		
事業の成果 【定性的評価】	実際に望遠鏡をのぞいて天体観測を体験する感動により、天文学や科学全般に対する興味・関心を高めることができた。皆既月食などの特別な天文現象などの観測を行うとともに、特別観望会の実施やインターネット配信を利用するなど情報提供に努めた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	天文台公開参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	天文台を見学した人数 定員及び平成26年度の実績を参考に設定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
	実績値・達成状況	1,915		2,047		1,268		1,290		1,312	
	実績値	1,040	未達成	1,247	未達成						
指標②	名称	太陽観測出張授業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	太陽観測出張授業に参加した人数 定員及び平成26年度の実績を参考に設定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
	実績値・達成状況	922		986		1,276		1,298		1,320	
	実績値	1,235	達成	1,255	達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	02細々目	天文台施設運営費				
年度	27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			725		809		799		799		
決算額(B)			721		804						
財源	特定財源			0		0		0			
	一般財源			721		804		799			
概算人件費(C)			11,972		11,154		11,692		11,929		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.46	0.00	1.43	0.00	1.48	0.00	1.51	0.00	
総事業費(A又はB+C)			12,693		11,958		12,491		12,728		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	実施の可否が天候や時間に左右され開催が制限されるため、すべてを予定通りに実施することは難しいが、実際に自分の目で見る体験は貴重であるため、可能な限り参加の機会を提供していく。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23101901	事業名称	プラネタリウム施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	プラネタリウム施設利用者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	天候や時間帯に左右されずに、星を観て、星の探し方・動きの規則性・法則などを効果的に学び、天文学の普及、科学全般に対する興味関心を高める。	一般投影、キッズアワー、学習投影、宇宙の教室、星空リラクゼーション、星空と朗読、天文講演会等を開催。また、番組制作や機器の保守等の特殊な作業の委託を行うもの。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	一般投影(小学生～一般対象)、キッズアワー(幼児・小学校低学年とその保護者)、学習投影(市内小学校4年生、中学校1年生、幼稚園・保育所)、宇宙の教室(子どもから大人まで学べる天文講座)等を開催した。また、番組制作や機器の保守等の特殊な作業は委託している。	項目	実績	単位
		一般投影観覧者数	17,879	人
キッズアワー観覧者数	4,800	人		
学習投影観覧者数	8,529	人		
事業の成果【定性的評価】	プラネタリウムの機能を活用した自然に近い星空から専門職員が惑星や星座、月について天文トピックスを交え詳しくわかりやすい解説を行うことで天文学の普及・科学全般について興味関心を高めることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	プラネタリウム観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	プラネタリウム観覧者数 平成26年度の実績を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況	34,293	未達成	35,975	未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	03細々目	プラネタリウム施設運営費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		14,446		14,583		16,771		16,771		
決算額(B)		14,365		14,573						
財源	特定財源	6,420		6,628		5,500				
	一般財源	7,945		7,945		11,271				
概算人件費(C)		14,268		13,182		13,114		13,351		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.74	0.00	1.69	0.00	1.66	0.00	1.69	0.00
総事業費(A又はB+C)		28,633		27,755		29,885		30,122		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	事業の充実を図るために、市民ニーズの把握や他館等の情報収集について検討が必要である。アンケート調査などを実施することで市民ニーズを把握し、幅広い年齢層の方々が満足できる企画・立案を取り入れていく。市民ニーズを分析するとともに、時節の話題や天文現象などを考慮し事業を進めていく。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23102001	事業名称	特別企画事業費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学展示施設利用者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	一つのテーマを掘り下げる特別展を開催することで、通常の展示とは別の視点から科学に親しむ機会を提供する。	館独自の企画立案による手作りの特別展のほか、関連団体からの展示物の借用、テーマに精通した業者への委託を活用し、特別展を開催。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	館独自の企画立案による、他館と連携し展示物を借用し開催した特別展のほか、テーマに精通した業者への委託を活用し、大人から子どもまで幅広い世代の学びが深まる特別展を開催した。	項目	実績	単位
		特別展入場者数	18,768	人
		サイエンスまつり入場者数	10,637	人
事業の成果 【定性的評価】	テーマが異なる特別展ごとに、対象となる年齢層を定め、新たな利用者の獲得ができた。また、常設展示装置では学ぶことのできない、話題性や地域性のあるテーマを定めることで、利用者の満足度を向上させることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特別展等入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	特別展を見学した人数 平成26年度の実績を参考に設定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	26,304	未達成	29,405	未達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	04細々目	特別企画事業費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		12,023		9,246		11,390		11,390		
決算額(B)		11,738		9,047						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	11,738		9,047		11,390				
概算人件費(C)		8,118		7,878		7,426		7,663		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.99	0.00	1.01	0.00	0.94	0.00	0.97	0.00
総事業費(A又はB+C)		19,856		16,925		18,816		19,053		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	利用者の関心が高いテーマの選択と、予算範囲内で充実した特別展を開催するためには、十分な情報収集と準備・検討が必要である。今後も館独自の企画立案による特別企画事業を行うためにも、他館の情報収集や職員の研修などを十分に行い、利用者のニーズに沿った、満足度の高い事業を展開していく必要がある。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23200102	事業名称	体育施設耐震診断事業	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続 新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	青木町公園総合運動場野球場管理棟及びプール棟	青木町公園総合運動場利用者及び地域住民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	建物の耐震性能を確保するため耐震診断を行うもの。	建物の耐震診断を行うもの。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	青木町公園総合運動場野球場管理棟及びプール棟の耐震診断	項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	建物の耐震性能を確保するための耐震化計画へとつなげることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	耐震診断施設			指標・目標値の説明(算定式)	29年度	30年度	31年度	32年度	
	単位	施設	指標の種別	結果						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度					32年度
	実績値・達成状況		2	達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)	29年度	30年度	31年度	32年度	
	単位		指標の種別							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度					32年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	14細々目	体育施設耐震診断事業	
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—	9,742	—	—			
決算額(B)		—	8,964					
財源	特定財源	—	0	—	—			
	一般財源	—	8,964	—	—			
概算人件費(C)		—	468	—	—			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.06	0.00	—	—
総事業費(A又はB+C)		—	9,432	—	—			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	経年劣化が進んでいる中、施設の整備、改修及び設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に耐震性能の確保を優先する必要がある。	30年度 完了 31年度 — 32年度 —



実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23200112	事業名称	新郷スポーツセンター耐震改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	新郷スポーツセンター	新郷スポーツセンター利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	耐震診断の結果、耐震値が基準を満たしていないことが判明した体育施設について、補強工事等により耐震化を図り、利用者及び地域住民の安全を確保する。	平成29～30年度 耐震補強工事及び内外装・設備等工事	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	新郷スポーツセンター耐震補強等工事 (平成29～30年度2カ年継続事業)	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	スケジュールどおりの進捗が得られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	09細々目	新郷スポーツセンター耐震改修事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		19,882		417,151		630,700		—
決算額(B)		18,105		166,646				
財源	特定財源	12,200		68,800		295,300		
	一般財源	5,905		97,846		335,400		
概算人件費(C)		574		546		553		—
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.07	0.00	0.07	0.00	—
総事業費(A又はB+C)		18,679		167,192		631,253		—

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設の整備、改修及び設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に耐震性能の確保を優先する必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 完了 32年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	23200125	事業名称	オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致等事業	事業区分	主要な事業 その他
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続 新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・事前キャンプ地視察団 ・市民	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地誘致等の活動を行うもの。	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致の活動における視察等、関係機関との連絡調整を図るもの。 また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたイベントの開催により、スポーツの普及促進並びに機運の醸成を図るもの。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	事前キャンプ地視察団受け入れ オリンピック・パラリンピック機運醸成イベント開催	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	事前キャンプ地誘致国の決定に向け外国視察団を受け入れを行った。オリンピック・パラリンピック機運醸成イベントを開催し、トップアスリートに直接触れる機会を通じてスポーツの普及促進や機運醸成を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	機運醸成イベント			指標・目標値の説明(算定式)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	単位	回	指標の種別	結果						
	目標値	1								
	実績値・達成状況	2 達成								
指標②	名称	事前キャンプ地視察団			指標・目標値の説明(算定式)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	単位	カ国	指標の種別	結果						
	目標値	2								
	実績値・達成状況	3 達成								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	13細々目	オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致等事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—		1,087		993		993		
決算額(B)		—		860						
財源	特定財源	—		0		0				
	一般財源	—		860		993				
概算人件費(C)		—		6,630		6,715		6,715		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.85		0.00		0.85		0.00
総事業費(A又はB+C)		—		7,490		7,708		7,708		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	各国視察団の受け入れをしているが、事前キャンプ地として協議・締結に至っていないため、今後も積極的に視察を受け入れていく。また、機運醸成イベントを開催し競技種目の実技体験を通じてトップアスリートに直接触れる機会をつくりスポーツの普及促進並びに機運醸成を図っていく。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23200142	事業名称	体育施設維持補修費	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	体育施設	施設利用者及び地域住民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	施設管理運営に必要な施設の維持補修を行う。	安全・安心に施設利用ができるよう、維持補修を図る。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事	主な実績		
		項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	02細々目	体育施設維持補修費	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		77,299		63,807		47,124		47,124
決算額(B)		76,777		61,754				
財源	特定財源	0		0		0		
	一般財源	76,777		61,754		47,124		
概算人件費(C)		1,886		1,794		1,817		1,817
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.23	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00
総事業費(A又はB+C)		78,663		63,548		48,941		48,941

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設を維持するための修繕及び補修工事を行う必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、施設の維持補修を行っていく必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23200162	事業名称	体育施設整備費	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続 新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	体育施設	施設利用者及び地域住民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	施設管理運営に必要な施設整備を行う。	安全・安心に施設利用ができるよう、より一層の施設整備を図る。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	老朽化した体育施設の改修び整備工事	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設の施設整備を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	03細々目	体育施設整備費
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—		352,907	239,732		253,028
決算額(B)		—		206,662			
財源	特定財源			99,600	0		
	一般財源			107,062	239,732		
概算人件費(C)				624	632		632
従事職員人数(人)	常勤	再任用		0.08	0.00	0.08	0.00
総事業費(A又はB+C)				207,286	240,364		253,660

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設の設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に施設整備を行う必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23200182	事業名称	青木町公園総合運動場陸上競技場耐震改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	青木町公園総合運動場陸上競技場	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	耐震診断の結果、耐震値が基準を満たしていないことが判明した体育施設について、補強工事等により耐震化を図り、利用者及び地域住民の安全を確保する。	平成29年度 耐震補強工事及び設備等工事 平成30年度 耐震補強工事及び内外装・設備等工事	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	青木町公園総合運動場陸上競技場耐震補強等工事(平成29~30年度2ヵ年継続事業)	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	スケジュールどおりの進捗が得られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	07細々目	青木町公園総合運動場陸上競技場耐震改修事業
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—		141,698	198,092	—	
決算額(B)		—		36,383			
財源	特定財源		—	0	117,000		
	一般財源		—	36,383	81,092		
概算人件費(C)			—	546	553	—	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.07	0.00
	総事業費(A又はB+C)		—	36,929	198,645	—	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設の整備、改修及び設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に耐震性能の確保を優先する必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 完了 32年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23200222	事業名称	芝スポーツセンター耐震改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続
					新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	芝スポーツセンター	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	耐震診断の結果、耐震値が基準を満たしていないことが判明した体育施設について、補強工事等により耐震化を図り、利用者及び地域住民の安全を確保する。	建物の耐震設計委託を行うもの。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	芝スポーツセンター耐震補強設計委託	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	建物の耐震性能を確保するための耐震補強設計を行うことにより、地震発生時における利用者及び地域住民の安全を確保するための耐震補強等工事へつなげることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	08細々目	芝スポーツセンター耐震改修事業	
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—		14,850	—			223,896
決算額(B)		—		13,738				
財源	特定財源	—		12,500	—			
	一般財源	—		1,238	—			
概算人件費(C)		—		546	—			553
従事職員人数(人)	常勤	再任用		0.07	0.00	—	—	0.07 0.00
総事業費(A又はB+C)		—		14,284	—			224,449

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設の整備、改修及び設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に耐震性能の確保を優先する必要がある。	30年度 休止 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23200242	事業名称	東スポーツセンター設備改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続 新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	東スポーツセンター設備	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設開所から年数が経過し、設備の故障や老朽化も著しいため、利用者への安全性の確保及び利便性を向上させるもの。	老朽化により稼働停止や修繕を繰り返す不具合が生じているため設備改修を行うもの。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	東スポーツセンター空調設備改修工事 東スポーツセンター中央監視装置改修工事	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設の改修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	10細々目	東スポーツセンター設備改修事業				
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—		186,000		24,000		—		—	
決算額(B)		—		128,277		—		—		—	
財源	特定財源	—		0		0		—		—	
	一般財源	—		128,277		24,000		—		—	
概算人件費(C)		—		468		474		—		—	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.06		0.00		0.06		0.00	
総事業費(A又はB+C)		—		128,745		24,474		—		—	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に設備等の改修を行っていく必要がある。	30年度 縮小して実施 31年度 完了 32年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23200262	事業名称	西スポーツセンター設備改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続 新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	西スポーツセンター設備	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設開所から年数が経過し、設備の故障や老朽化も著しいため、利用者への安全性の確保及び利便性を向上させるもの。	老朽化により稼働停止や修繕を繰り返す不具合が生じているため設備改修を行うもの。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	西スポーツセンター冷温水発生機ほか取替工事	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設の改修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	11細々目	西スポーツセンター設備改修事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—		157,955		77,988		—		
決算額(B)		—		149,348						
財源	特定財源	—		0		0				
	一般財源	—		149,348		77,988				
概算人件費(C)		—		468		474		—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—		0.06	0.00	0.06	0.00	—	—
総事業費(A又はB+C)		—		149,816		78,462		—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	経年劣化が進んでいる中、設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に設備等の改修を行っていく必要がある。	30年度	現状維持で実施
		31年度	完了
		32年度	—



実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23200282	事業名称	青木町公園総合運動場プール設備改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続 新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	青木町公園総合運動場プール設備	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設開所から年数が経過し、設備の故障や老朽化も著しいため、利用者への安全性の確保及び利便性を向上させるもの。	老朽化により稼働停止や修繕を繰り返す不具合が生じているため設備改修を行うもの。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	青木町公園総合運動場プールろ過機改修工事 青木町公園総合運動場プールボイラー取替工事 青木町公園総合運動場電光表示板ほか取替工事 青木町公園総合運動場給水配管改修工事	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設の改修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	12細々目	青木町公園総合運動場プール設備改修事業
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—	—	238,130	—	—	—
決算額(B)		—	—	236,263			
財源	特定財源	—	—	0	—	—	—
	一般財源	—	—	236,263	—	—	—
概算人件費(C)		—	—	468	—	—	—
従事職員人数(人)	常勤	再任用		0.06	0.00	—	—
総事業費(A又はB+C)		—	—	236,731	—	—	—

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に設備等の改修を行っていく必要がある。	30年度 完了 31年度 — 32年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23200301	事業名称	流水プール施設運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	レクリエーション施設である流水プール場(冬期はアイススケート場)を提供し、心身の健康増進に寄与する。	流水プール場及びアイススケート場の開場期間中における安全・安心な施設運営を行なう。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	流水プール場及びアイススケート場の運営維持管理(委託)、機械設備等の点検・自主検査、開場に向けて施設の不具合箇所の修繕を実施した。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	安全・安心な施設運営が出来た。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	流水プール場(夏季)とアイススケート場(冬季)の入場者数(過去10年間の平均入場者数)					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
	実績値・達成状況	75,984		未達成		75,612		未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位										
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	06目	003細目	01細々目	流水プール施設運営費			
年度	27年度		28年度		29年度		30年度		31年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			40,658		40,728		40,762		40,762	
決算額(B)			39,609		39,954					
財源	特定財源		16,991		21,230		21,375			
	一般財源		22,618		18,724		19,387			
概算人件費(C)		6,304		7,488		7,584		7,584		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.64	0.32	0.96	0.00	0.96	0.00	0.96	0.00
総事業費(A又はB+C)			45,913		47,442		48,346		48,346	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
44 /60	施設・設備の老朽化が顕著であり、安全面を重視した総合的な点検・補修等が必要である。特に運営上、主要な設備や車両が老朽化のため、今後、計画的な更新や修繕を実施していく。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23200401	事業名称	スポーツ推進審議会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市スポーツ推進審議会条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進審議会委員	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	スポーツの推進に関する事項について調査審議する。	年2回程度会議を開催。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	第1回川口市スポーツ推進審議会(平成29年8月9日開催) 第2回川口市スポーツ推進審議会(平成30年2月23日開催)	項目	実績 単位
		スポーツ推進審議会会議	2 回
		スポーツ推進審議会委員数	15 人
事業の成果 【定性的評価】	スポーツの推進に関する事項について調査審議することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	01細々目	スポーツ推進審議会事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				208		208		208		208
決算額(B)				193		186				
財源	特定財源			0		0		0		
	一般財源			193		186		208		
概算人件費(C)				2,050		1,950		1,975		1,975
従事職員人数(人)	常勤			0.25		0.00		0.25		0.00
	再任用									0.25
総事業費(A又はB+C)				2,243		2,136		2,183		2,183

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	川口市のスポーツの推進及び振興のため調査・審議し、スポーツ行政に反映していく必要がある。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23200501	事業名称	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立中学校・高等学校運動部活動指導者派遣事業実施要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中学校・高等学校の運動部	中学校・高等学校の運動部員	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	川口市立中学校・高等学校運動部活動の充実を図るために、教育に対する理解と専門的な技術指導力を備えた指導者を、地域住民の中から協力者として支援できるようにする	指導者は、各学校の部活動における技術指導への協力と援助を行う	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指導者は、各学校の部活動における技術指導への協力と援助を行う	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	市内中学校・高等学校の運動部活動の充実・活性化が図られた。また、地域の指導者を活用することにより、運動部活動と地域社会との連携を促進し、指導者の資質向上を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指導者派遣数			指標・目標値の説明(算定式)	中学校・高等学校に派遣した指導者数 中学校26人、高等学校3人、計29人					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況		27	未達成							
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	02細々目	中学校・高等学校運動指導者派遣事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		1,979		1,979		1,979		1,979		
決算額(B)		1,577		1,720						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	1,577		1,720		1,979				
概算人件費(C)		8,200		7,800		7,900		7,900		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費(A又はB+C)		9,777		9,520		9,879		9,879		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	外部指導者の種目が偏らないようにしていく。また、指導者としての資質があるか、人格的にも申し分ない者かどうか等、十分に確認が必要となる。各学校、川口市立中学校体育連盟と調整・検討を行う。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	23200601	事業名称	各種体育大会開催事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	体育大会開催要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	児童	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	児童の健全育成を目的に、スポーツ活動をおとして児童の心身の健康づくりと児童相互の親睦を図る。	少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 少年少女ふれあいなわとび大会	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 少年少女ふれあいなわとび大会	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	スポーツ大会を通じ、技量の向上と相互の交流を図るとともに、地域社会における正しい集団生活と望ましい社会道徳を身につかせ、青少年の健全育成が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	少年少女ふれあいなわとび大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	少年少女ふれあいなわとび大会参加者数 市内小学校52校×1校平均55人×年2回=5,720人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	5,810 達成		5,789 達成						
指標②	名称	少年少女スポーツ大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	少年少女スポーツ大会参加者数 市内小学生対象の柔道クラブ7団体、剣道クラブ19団体 合計26団体×1団体約13人=338人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	362 達成		377 達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	03細々目	各種体育大会開催事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				249	243	246	246			
決算額(B)				236	238					
財源	特定財源			0	0	0				
	一般財源			236	238	246				
概算人件費(C)				8,200	7,800	7,900	7,900			
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00 0.00
総事業費(A又はB+C)				8,436	8,038	8,146	8,146			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	参加者数の増加に伴い、怪我・事故防止などの安全対策が課題である。 参加対象者を限定するなど、実行委員会等と連携を図り安全に実施できるよう取り組んでいく。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23200701	事業名称	体育関係表彰事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ活動において功労のあった者及び活躍した選手	受賞者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたりスポーツ活動において功労のあった者及び年間を通じて活躍した選手または団体に対し、市または教育委員会が表彰する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>川口市体育三賞授与式・会場借上げ・看板製作委託</li> <li>中学校駅伝大会表彰</li> <li>スポーツ推進委員10年以上表彰</li> <li>ふれあいなわとび大会の表彰</li> </ul>	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>川口市体育三賞授与式・会場借上げ・看板製作委託</li> <li>中学校駅伝大会表彰</li> <li>スポーツ推進委員10年以上表彰</li> <li>ふれあいなわとび大会の表彰</li> </ul>	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	各種大会や長年にわたり、スポーツ活動において功労のあった者及び年間を通じて活躍した選手または団体を表彰することにより、今後の活躍と励みとし、市民体育の振興と発展が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
指標②	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
実績値・達成状況						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	04細々目	体育関係表彰事業	
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			706	693	736	736		
決算額(B)			675	679				
財源	特定財源		0	0	0			
	一般財源		675	679	736			
概算人件費(C)			8,200	7,800	7,900	7,900		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費(A又はB+C)			8,875	8,479	8,636	8,636		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
60 /60	スポーツ活動において功労のあった者及び年間を通じて活躍した選手または団体を表彰しているが、今後の活躍の励みとするため、継続して実施していくことが必要である。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23200801	事業名称	ツデーマーチ実行委員会交付金	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	ツデーマーチ実行委員会交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ツデーマーチ実行委員会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	体力低下が社会問題となっていることから、交付することで、事業の推進を図る。	大会を企画運営し、市内及び市外からのウォーカーへのウォーキングの場を提供する。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	大会を企画運営し、市内及び市外からのウォーカーへのウォーキングの場を提供した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	市民の体力向上及び健康増進が図られるとともに、市民相互のふれあいの場を提供し、参加者相互の親睦が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	05細々目	ツデーマーチ実行委員会交付金	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		1,700		1,700		2,700		1,700
決算額(B)		1,700		1,700				
財源	特定財源	0		0		0		
	一般財源	1,700		1,700		2,700		
概算人件費(C)		8,200		7,800		7,900		7,900
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費(A又はB+C)	9,900		9,500		10,600		9,600	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性
52 /60	大勢の方が参加するような大会づくりを目指す。 大規模な大会になるよう広報活動の強化が必要。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	23200901	事業名称	学校体育協会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ基本法/学校体育奨励交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市学校体育協会	市立小・中・高等学校の児童、生徒	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市立小・中・高等学校教育の一環として、児童・生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身とも健康な児童・生徒を育成するとともに、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小学校体育主任研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小学校体育主任研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	各種大会・記録会を開催することにより、他校の選手と競い合うことで競技力の向上が図られ、同時にスポーツの実践を通じて児童・生徒の健全育成が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	01細々目	学校体育協会事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			3,425	3,295		3,360		3,360
決算額(B)			3,193	2,949				
財源	特定財源		0	0		0		
	一般財源		3,193	2,949		3,360		
概算人件費(C)			8,200	7,800		7,900		7,900
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費(A又はB+C)			11,393	10,749		11,260		11,260

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	児童・生徒の運動離れが広がっており、どのような学校体育の振興が可能かが課題である。今後も継続的にスポーツ教室・大会等を開催する他、新たなスポーツの機会の提供や、生徒が参加しやすい仕組みを検討する必要があると考えられる。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施



実施計画事業評価調査

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	23201001	事業名称	スポーツ協会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2468	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 63 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ協会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(公財)川口市スポーツ協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	スポーツ功績を表彰して榮譽を讃え、活力と向上精神を刺激し、スポーツの普及発展につなげ、また、川口市のスポーツ情勢を幅広く市民に周知し情報を提供することにより市民のスポーツ参加を促し、スポーツの意識向上を図ることが目的である。	スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行い、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などでより一層の活気を見だし更には、広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成する。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行い、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などでより一層の活気を見だし更には、広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成した。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	スポーツ競技力の向上やスポーツへの取組み意欲の向上が市民の活気ある生活への後押しとなり、更にスポーツ表彰により、一層のスポーツに対する活力と向上精神を刺激するものであり、スポーツの普及発展につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	02細々目	スポーツ協会事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		53,844		53,844		58,293		56,793
決算額(B)		53,843		53,843				
財源	特定財源	0		0		0		
	一般財源	53,843		53,843		58,293		
概算人件費(C)		8,200		7,800		7,900		7,900
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費(A又はB+C)		62,043		61,643		66,193		64,693

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
60 /60	市民スポーツの普及促進について、スポーツ教室、表彰等は大変重要であり、継続的に行う必要がある。今後においても、スポーツ教室、表彰体系、広報の方法等について更に検討をするもの。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23201101	事業名称	スポーツ推進委員協議会事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2468	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ基本法第32条2項(スポーツ振興法改正 平成23年8月24日施行) / スポーツ推進委員協議会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進委員協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	ニュースポーツを広めるなど、スポーツ全般的な推進につながるよう交付を行っているもの。	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行うもの。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行った。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	スポーツレクリエーションの推進での市民の満足度は非常に高いものとなった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	常任理事会開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	年間の事業に関する話し合いや、活動の報告を通じて、協議会の事業を向上させるための会議である。他の事業の兼ね合いから、年間5回の開催が妥当である。				
	単位	回(数)	指標の種別	活動						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況	5	達成	5	達成					
指標②	名称	スポーツ推進委員数			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	人(数)	指標の種別	結果						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況	296	—	298	—					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	03細々目	スポーツ推進委員協議会事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		12,983		13,068		13,062		13,062		
決算額(B)		12,389		12,457						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	12,389		12,457		13,062				
概算人件費(C)		8,200		7,800		7,900		7,900		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費(A又はB+C)		20,589		20,257		20,962		20,962		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	スポーツ推進委員の活動については、各地域により特色が強く出ているため、統一的な活動状況の確保は困難である。今後は、スポーツ推進委員の質を高めつつ、様々なニーズに対応しながら事業を継続的に進めていく必要がある。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23201201	事業名称	レクリエーション協会事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	レクリエーション協会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市レクリエーション協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	レクリエーション協会として事業を行うことにより、川口市が健康にして明るい産業都市となる事を目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会</li> <li>・市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・小中学校)</li> <li>・市民レクリエーション祭</li> <li>・各種大会沿道警備</li> </ul>	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会</li> <li>・市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・小中学校)</li> <li>・市民レクリエーション祭</li> <li>・各種大会沿道警備</li> </ul>	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	広く市民にスポーツレクリエーションを奨励し、健康増進を図ると共に市民相互のふれあいの場を提供し、生涯スポーツ都市川口の創設に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	04細々目	レクリエーション協会事業	
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			3,878	3,878	3,845		3,878	
決算額(B)			3,878	3,878				
財源	特定財源		0	0	0			
	一般財源		3,878	3,878	3,845			
概算人件費(C)			8,200	7,800	7,900		7,900	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費(A又はB+C)			12,078	11,678	11,745		11,778	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
48 /60	市民ニーズがますます増大することが考えられることから、調査研究が必要である。	<table border="1"> <tr> <td>30年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>32年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	30年度	現状維持で実施	31年度	現状維持で実施	32年度	現状維持で実施
30年度	現状維持で実施							
31年度	現状維持で実施							
32年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23201301	事業名称	スポーツ少年団事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2468	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ少年団事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ少年団	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	発育発達途上にある青少年を対象に、心と身体の健全育成とスポーツ活動を通じて立派な社会人に育てることを目的とした事業であるため、支援が必要である。	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・母集団研修 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・母集団研修 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	各種大会により団員の競技力・体力の向上はもとより、活動を通じた自主性の育成が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	05細々目	スポーツ少年団事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		1,200		1,200		1,200		1,200
決算額(B)		1,200		1,200				
財源	特定財源	0		0		0		
	一般財源	1,200		1,200		1,200		
概算人件費(C)		8,200		7,800		7,900		7,900
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費(A又はB+C)	9,400		9,000		9,100		9,100	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 /60	スポーツ少年団の活動は競技スポーツばかりでなく、発育発達段階を考慮したスポーツ活動のほか、学習活動、野外活動、レクリエーション活動、社会活動、文化活動など幅広く捉えている。ということに関係者によく理解してもらう。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23201401	事業名称	スポーツ推進補助事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2469	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	社会体育奨励交付金交付要綱/県代表選手派遣交付金交付基準等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ・公民館地区レクリエーション協会(33団体)市内在勤の方 ・派遣選手(団体または個人) ・スポーツやレクリエーション活動中に傷害を受けた市内在住または在勤・在学の方	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左
事業の概要	事業の目的(何のために) 市民のスポーツ活動、生涯スポーツ活動、競技スポーツ活動の普及を図り、活動する市民へ負担を軽減するため支援するもの。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・各公民館地区におけるスポーツ事業の育成のための交付 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・各公民館地区におけるスポーツ事業の育成のための交付 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	主な実績	項目 実績 単位
事業の成果【定性的評価】	・地区大会の実績が報告され、スポーツを通じ地域コミュニティーが活性できた。 ・競技力の向上により、優秀な選手を輩出できた。・スポーツレクリエーションに安心して参加ができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	06細々目	スポーツ推進補助事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		15,927		15,927		15,927		15,927
決算額(B)		15,602		15,606				
財源	特定財源	0		0		0		
	一般財源	15,602		15,606		15,927		
概算人件費(C)		8,200		7,800		7,900		7,900
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費(A又はB+C)		23,802		23,406		23,827		23,827

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性
48 /60	・事業の簡素化や経費の削減の検討が必要。 ・全国大会等に出場する選手が増えているため予算の増額の検討が必要。 ・長年、交付基準と交付額の見直しがされていない。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23201501	事業名称	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 青木町公園総合運動場・体育武道センターを運営する事業者	受益者(最終的に受益を受ける人) 施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために) 専門性の高い競技施設として機能し、県・関東・全国規模の大会会場として使用しており、各競技団体等との連携を図りながら円滑な施設運営を行い、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 指定管理者制度を活用し、(公財)川口市スポーツ協会に施設全般の管理運営等業務等を委託した。	主な実績 項目 実績 単位	
事業の成果 【定性的評価】	川口市のスポーツ拠点施設としての運営ができることや、専門的分野の競技力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	目標値					455,906	436,951	440,483		
	実績値・達成状況	428,762	未達成	432,228	未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	04細々目	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		154,286		154,948		155,408		155,562		
決算額(B)		154,286		154,947						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	154,286		154,947		155,408				
概算人件費(C)		2,050		1,794		1,817		1,817		
従事職員人数(人)	常勤	0.25		0.00		0.23		0.00		
	再任用					0.23		0.00		
総事業費(A又はB+C)		156,336		156,741		157,225		157,379		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	指定管理者制度施設と直営施設におけるサービスの格差が生じる恐れがある。直営施設に対する余波を研究しながら、今後の施設管理を検討する。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	23201601	事業名称	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	戸塚スポーツセンターを運営する事業者	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	民間ノウハウを活用し一層のサービス向上を提供及びコスト削減を図り、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者制度を活用し、(株)コナミスポーツクラブグループに施設全般の管理運営等業務等を委託した。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	川口市のスポーツ拠点施設として運営ができることや、専門的分野の競技力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用人数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	478,194		491,338		510,241				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	05細々目	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		134,797		134,986		135,669		135,669		
決算額(B)		134,796		134,986						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	134,796		134,986		135,669				
概算人件費(C)		2,050		1,794		1,817		1,817		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00
総事業費(A又はB+C)		136,846		136,780		137,486		137,486		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	指定管理者制度施設と直営施設におけるサービスの格差が生じる恐れがある。直営施設に対する余波を研究しながら、今後の施設管理を検討する。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	23201802	事業名称	青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認取得事業	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	施設利用者及び地域住民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	青木町公園総合運動場陸上競技場走路の損傷が激しく不具合が生じている状況であり、利用者への利便性を向上及び日本陸上競技連盟の公認を取得するため改修工事を行うもの。	日本陸上競技連盟の公認を取得するため、青木町公園総合運動場陸上競技場の走路等改修及びインフィールド内の天然芝張替え工事を行うもの。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	青木町公園総合運動場陸上競技場走路等全天候型舗装工事及び計時・計測配線工事 陸上競技場改修記念式典 日本陸上競技連盟第3種競技場公認取得	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	青木町公園総合運動場陸上競技場走路等の改修で、施設利用者への安全・安心な施設の提供による利便性を向上することができた。また、日本陸上競技連盟第3種競技場の公認を取得したことにより、公認記録となる大会が開催できる。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	06細々目	青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認取得事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		131,477		259,067		5,590		—
決算額(B)		131,477		256,632				
財源	特定財源	0		0		0		
	一般財源	131,477		256,632		5,590		
概算人件費(C)		1,230		390		395		—
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費(A又はB+C)		132,707		257,022		5,985		—

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	限られた財源の中で利用者の安全・安心を確保していく必要がある。	30年度 縮小して実施 31年度 完了 32年度 —



実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23201901	事業名称	スポーツ教室開催事業費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2468	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 45 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立体育施設設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ教室受講者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	教室を開催することで、初心者の方や向上心のある方が気軽にスポーツに参加でき、更にはスポーツの楽しさを知ってもらうことや、心身の成長に貢献することが目的である。	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催した。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	教室においては、主に30歳代から70歳代まで幅広い年齢層で開催することができ、スポーツの楽しさや、世代間交流及び健康増進への意欲向上につなげることができ、川口市のスポーツ振興に貢献することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	教室開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	施設を活かしたスポーツ教室を開催するものであり、予算の編成時にその情勢を鑑みて設定しているものである。(実績回数/開催回数(目標回数))				
	単位	教室	指標の種別	活動		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	目標値	13		12						
	実績値・達成状況	12	未達成	10	未達成					
指標②	名称	教室参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	スポーツ教室の「実績回数/開催回数(目標回数)」				
	単位	人(数)	指標の種別	結果		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	目標値	2,235		1,935						
	実績値・達成状況	1,677	未達成	1,296	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	002細目	01細々目	スポーツ教室開催事業費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		1,181		924		1,007		1,007		
決算額(B)		1,158		903						
財源	特定財源	1,158		903		1,007				
	一般財源	0		0		-				
概算人件費(C)		19,800		18,500		18,500		18,500		
	従事職員人数(人) 常勤 再任用	0.00	6.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	
総事業費(A又はB+C)		20,958		19,403		19,507		19,507		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	各スポーツ施設で開催内容を検討するものであり均一ではない。 自主性が問われるものであるため、今後も引き続き開催について検討してもらいたい。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	23300102	事業名称	文化芸術鑑賞事業	事業区分	主要な事業 政策宣言12
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術振興基本法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民及び来訪者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	幅広い分野の文化・芸術に関する事業の開催を通して市民が多彩なジャンルの文化・芸術を鑑賞する機会を提供することにより、市民の文化力向上に寄与する。	市内在住の文化・芸術活動を行っている個人・団体等を講師とし、夏休みの小・中・高校生の生徒を対象とした文化・芸術活動の体験ワークショップを行い、発表の場を提供する。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	川口総合文化センターにおいて「子ども民謡教室」を実施し、川口市民謡指導者協議会、川口市民謡団体連合会の協力のもと、日本の伝統文化である「民謡」を通して、普段触れることの少ない文化芸術に参加できる機会を提供した。	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	・小学1年生から小学5年生までの児童16人が参加した。 ・参加者にとって普段接することのない伝統芸能に興味を持つきっかけとなり、講師にとっては次世代の育成につながったと考える。	子ども民謡教室	1	回

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	発表会への観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	128人(前年度1日あたり平均観覧者数)×1日間(発表会会期日数)×1.1(前年比10%増)					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	257	達成	42	未達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	002細目	02細々目	文化芸術鑑賞事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		915		440		448		448		
決算額(B)		745		193						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	745		193		448				
概算人件費(C)		1,394		1,326		1,185		1,185		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.17	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
総事業費(A又はB+C)		2,139		1,519		1,633		1,633		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	観覧者、参加者を増やすため、実施内容や広報活動に関して、市民の関心を得られるよう、創意工夫をする。また、文化芸術団体や指導者が主体的に事業を継続できるよう工夫する。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	23300202	事業名称	アートギャラリー企画関係費			事業区分	主要な事業 政策宣言12
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	253-0222	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営										
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)											
	市民	同左											
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)											
	市民の美術に対する意識の高揚を図るとともに、美術の鑑賞・創作活動の場を提供し、もって芸術文化の発展に寄与することを目的とする。	・展覧会、講演会、講習会、ワークショップに伴う企画・運営・広報 ・展覧会実施に伴う展示制作 ・展覧会会場の管理・運営											
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績											
	・自主企画展覧会を4事業、170日実施した。 ・ワークショップを7事業、7日実施した。 ・実技講座を3事業、3日実施した。 ・企画展関連イベントを12事業、12日実施した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春の企画展&lt;アートで解明! 空気の正体&gt;</td> <td>3,195</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>公募&lt;新鋭作家展&gt;</td> <td>1,733</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>アーティスト・イン・スクール成果発表展</td> <td>1,919</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	春の企画展<アートで解明! 空気の正体>	3,195	人	公募<新鋭作家展>	1,733	人	アーティスト・イン・スクール成果発表展	1,919
項目	実績	単位											
春の企画展<アートで解明! 空気の正体>	3,195	人											
公募<新鋭作家展>	1,733	人											
アーティスト・イン・スクール成果発表展	1,919	人											
事業の成果【定性的評価】	さまざまな内容の企画・展示を行うことにより、市民のアートに対する興味を喚起することができた。												

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主企画事業の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	14,850	達成	9,472	未達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	12目	001細目	02細々目	アートギャラリー企画関係費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		21,482		18,454		17,662		17,662		
決算額(B)		19,947		14,810						
財源	特定財源	0		0		168				
	一般財源	19,947		14,810		17,494				
概算人件費(C)		13,120		12,480		12,640		12,640		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00	
総事業費(A又はB+C)		33,067		27,290		30,302		30,302		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	広報がわぐちや隔月刊発行ニュース等で広報を行っているが、企画の内容によっては入場(参加)者が少ないことがある。今後においても、企画内容の充実には元より、自主企画、ワークショップ、講座等について、新聞等のメディアやウェブ等を積極的に活用するなど広報を強化し、市内外を問わず幅広く来場者に情報を発信できるよう改善を目指す。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23300301	事業名称	総合文化センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	#33-5313	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	総合文化センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	公益財団法人川口総合文化センター	施設利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	川口総合文化センターの施設管理及び運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>川口総合文化センターの施設管理</li> <li>地域に対する文化芸術の振興</li> </ul>		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 指定管理者制度のもと、公益財団法人川口総合文化センターに管理運営を委託した	主な実績		
		項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	事故等問題なく運営できた			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	22目	001細目	01細々目	総合文化センター指定管理者管理運営費
年度	27年度	28年度		29年度		30年度	31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		490,370		484,370		503,500	498,000
決算額(B)		484,014		476,370			
財源	特定財源	64,555		64,555		64,555	
	一般財源	419,459		411,815		438,945	
概算人件費(C)		1,476		1,170		1,343	1,343
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.18	0.00	0.15	0.00
総事業費(A又はB+C)		485,490		477,540		504,843	499,343

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	9 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	不明	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性
54 /60	特になし	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23300501	事業名称	市民コンサート事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術振興基本法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託						
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左							
事業の概要	事業の目的(何のために) 広く市民が多様な音楽に触れ、音楽を楽しむ機会を設けることにより、本市の音楽文化のさらなる発展・向上に繋げることを目的とする。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 市民コンサートの実施。							
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績							
	・8月25日(金)、26日(土)「夜のコンサート」グリーンセンターコミュニティ広場ステージ ・3月18日(日)「ピアノの調べ」旧田中家住宅洋館3階大広間	項目	実績						
事業の成果 【定性的評価】	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>市民コンサート回数</td> <td>3</td> <td>回</td> </tr> </table>			項目	実績	単位	市民コンサート回数	3	回
項目	実績	単位							
市民コンサート回数	3	回							
	・「夜のコンサート」2日間入場者数778人、「ピアノの調べ」入場者数38人 ・市内で活動する音楽家への活躍の場を提供するとともに、市民が気軽に多様な音楽への興味・関心を持つ機会になった。								

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市民コンサートへの入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	118人(前年度1回あたり平均入場者数)×3回(実施回数)×1.1(前年比10%増)					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	355	未達成	816	達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	002細目	01細々目	市民コンサート事業			
年度	27年度	28年度			29年度		30年度		31年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		739			935		1,227		1,227	
決算額(B)		463			798					
財源	特定財源	0			0		0			
	一般財源	463			798		1,227			
概算人件費(C)	2,214			2,106		1,659		1,659		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.27	0.00	0.27	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00
総事業費(A又はB+C)	2,677			2,904		2,886		2,886		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	コンサートを実施するにあたり、身近であり、かつ気軽に触れられる会場の確保が課題となっており、今後は市内施設のほか、企業との協力なども視野に入れて検討する。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23300601	事業名称	芸術賞賞賜事業			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 62 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術振興基本法、各種表彰規程

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化芸術に携わる市民全般	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたり本市の文化・芸術振興に貢献した方の功労を顕彰し、将来を嘱望される方の奨励を行うことにより、市民文化の向上・発展に寄与するものである。	市民文化の向上・発展に貢献された方を対象とする「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」、青少年を対象とした「青少年文化活動奨励賞」の表彰を行うもので、被表彰者を公募、選考会議における候補者の選考を経て市長が決定し表彰を行う。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・11月5日川口駅前市民ホール「フレンディア」にて文化三賞表彰式と二胡演奏会を実施し、「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」「青少年文化活動奨励賞」を授与。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	・受賞者の文化芸術に関する功績や活動の業績を、広く市民あてに顕彰することにより、本市の文化力の向上を喚起する推進力へと繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	表彰式入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年の入場者数(211人)×1.1(前年比10%増)					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況	211	達成	139	未達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	002細目	03細々目	芸術賞賞賜事業			
年度	27年度	28年度			29年度		30年度		31年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		898			920		1,035		1,035	
決算額(B)		870			714					
財源	特定財源	0			0		0			
	一般財源	870			714		1,035			
概算人件費(C)	1,804			1,716		1,580		1,580		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.22	0.00	0.22	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費(A又はB+C)	2,674			2,430		2,615		2,615		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	文化芸術活動者の偉業を称えるにふさわしい表彰式となるよう、観客をどのようにして集めるかが課題であり、会場の検討や想定される来場者のニーズに合わせたイベントの企画、広報を充実させる。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23300701	事業名称	文化振興交付事業		事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 52 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化振興基金条例、各種交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化芸術活動を行う個人や団体	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の自主的な文化事業や創造的な文化芸術活動を積極的に支援することにより、文化芸術の振興を図り、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の実現に役立つ。	市内の文化芸術活動を行う個人や団体を補助金の交付によって支援することにより、市内の文化団体・個人の発展、ひいては市の文化力向上に寄与する。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・市内で文化活動を行っている個人・団体を対象に助成事業の公募を行い、選考を経て、11団体に助成金を交付。 ・初午太鼓コンクール、文化祭実行委員会、青少年ピアノコンクール実行委員会、美術展実行委員会、かわぐち音楽の日実行委員会へ補助金を交付。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	・文化振興助成事業助成金交付団体数11団体、補助金交付事業団体数5団体 ・市民の自主的な文化事業や創造的な芸術活動を支援することにより、本市の文化力向上を推進する結果となった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化振興助成金の交付要望件数			指標・目標値の説明(算定式)	10(前年交付要望件数)+1件					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
	実績値・達成状況	10 達成		11 達成							
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位										
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	002細目	04細々目	文化振興交付事業				
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		19,518		15,475		13,301		13,301			
決算額(B)		15,452		14,828							
財源	特定財源	2,420		1,797		2,355					
	一般財源	13,032		13,031		10,946					
概算人件費(C)		15,580		8,502		6,636		6,636			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.90	0.00	1.09	0.00	0.84	0.00	0.84	0.00	
総事業費(A又はB+C)		31,032		23,330		19,937		19,937			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	文化芸術活動団体への還元性の高い事業であることから、文化振興基金による助成制度と基金への寄付に対する更なる周知が必要であり、従来の方法に加えて、関係団体への周知を強化するとともに、後援希望の団体への周知にも力を入れていく。	30年度	効率化して実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23300801	事業名称	旧芝園中学校アトリエ利用事業		事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	創作活動の場を希望するアーティスト及び市民	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	創作活動の場所に窮しているアーティストに対して活動の場を提供することでアーティストの育成及び支援を図り、併せて、施設での活動としてワークショップ、発表会等の市民が参加交流出来る場を設けることにより、市民の文化芸術の造詣を深め、本市の文化芸術活動の振興を図る。	旧芝園中学校の空き校舎の有効活用として平成25年10月より5年の期間一般教室、特別教室をアーティストへ活動場所として提供(管理団体:一般社団法人アブリユス)。また、イベントとしてワークショップ(巨大な絵画制作)を開催。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	一般社団法人アブリユスによるワークショップの実施。	項目	実績 単位
		ワークショップ委託回数	1 回
事業の成果 【定性的評価】	・芝富士小学校生徒(5年生)、芝小学校(6年生)ワークショップ参加人数 97人 ・ワークショップ等で近隣住民の方と文化を通して交流が生まれるなど、川口市の文化・芸術の振興に寄与することが出来た。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	アーティストの登録人数			指標・目標値の説明(算定式)	貸出し部屋数(17部屋)×2名					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
	実績値・達成状況	42 達成		42 達成							
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	002細目	05細々目	旧芝園中学校アトリエ利用事業				
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				250		300		363		—	
決算額(B)				250		300					
財源	特定財源			0		0		0			
	一般財源			250		300		363			
概算人件費(C)			1,230		1,170		948		—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15 0.00		0.15 0.00		0.12 0.00		— —		
総事業費(A又はB+C)			1,480		1,470		1,311		—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	アーティストの活動の継続性に注力した工夫が必要であり、定期的に訪問し、活動内容を確認することが必要である。	30年度	拡充して実施
		31年度	完了
		32年度	—



実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	23300901	事業名称	文化団体補助事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	#72-2112	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 50 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化団体連合会補助金交付要綱、川口市民音楽協会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市文化団体連合会、川口市民音楽協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内における文化芸術活動を担う団体への支援を行うことを通じ、各種文化活動の促進、市民文化の高揚を図る。	川口市文化団体連合会が行う文化活動の啓発等に関わる事業費や市民音楽協会加盟団体への活動支援のため、補助金を交付する。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口市文化団体連合会、川口市民音楽協会への補助金の交付	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	・補助金交付2団体 ・市民の自主的な文化芸術活動の振興と事業に携わる人材の育成及び交流の構築を図ることが出来た。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化団体連合会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	124		117						
	実績値・達成状況	117	未達成	122	達成					
指標②	名称	川口市民音楽協会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	61		62						
	実績値・達成状況	62	達成	63	達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	003細目	01細々目	文化団体補助事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		1,650		1,650		1,650		1,650		
決算額(B)		1,554		1,650						
財源	特定財源	0		0		0				
	一般財源	1,554		1,650		1,650				
概算人件費(C)	1,066		1,014		948		948			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.13	0.00	0.13	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00
総事業費(A又はB+C)	2,620		2,664		2,598		2,598			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性	
50 /60	加盟団体の高齢化が進んでおり、今後若い世代をどのようにして増やしていくかが課題であるが、団体に対して行政からも情報の提供、助言などを適宜行っていく。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	23301001	事業名称	アートギャラリー事業運営費			事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	253-0222	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び文化共催展などの関係団体(市内学校、川口市美術家協会など)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	文化共催展などの関係団体等に美術の鑑賞・創作活動の場を提供することで、市民の美術作品に対する意識の高揚を図るとともに、文化芸術活動の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営審議会の運営</li> <li>・美術非常勤特別職・アドバイザーに伴う報酬・報償の支払い</li> <li>・展覧会、講演会、講座、ワークショップ等の開催に伴う調査・研究</li> <li>・共催展に関する展示、印刷物の配布</li> <li>・美術及び館運営等に関する情報収集</li> </ul>	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回運営審議会を実施した。</li> <li>・今後の館運営の参考となりそうな展覧会等の調査・研究、並びに美術・館運営に関する情報収集のため職員を派遣した。</li> <li>・各種共催展の展示やそれに関する印刷物の配布を行った。</li> <li>・15団体、111日の貸館利用があった。</li> </ul>	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	さまざまな内容の企画・展示を行うことにより、市民のアートに対する興味を喚起することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	共催・連携事業の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	17,075 達成		17,302 達成		17,389				
指標②	名称	貸館利用の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	貸館利用者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	7,004 未達成		8,284 達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	12目	001細目	01細々目	アートギャラリー事業運営費			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		13,643		15,255		16,676		16,676		
決算額(B)		12,391		13,501						
財源	特定財源	1,705		2,969		1,791				
	一般財源	10,686		10,532		14,885				
概算人件費(C)	14,760		14,040		14,220		14,220			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00
総事業費(A又はB+C)	27,151		27,541		30,896		30,896			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	企画の内容によっては入場(参加)者が少ないことがある。広報かわぐちや隔月刊発行ニュース等の広報を行っているが、共催・連携事業においては、学校等との連携を図りつつ、新聞等のメディアやウェブ等の積極的に活用しながら広報を強化し、市内外問わず幅広い情報発信ができるよう更なる改善を目指す。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施